

＜本プロジェクト関係者＞

<p>【Space BD 株式会社】 代表取締役社長 永崎 将利</p> 	<p>Space BD は、前身のナガサキ・アンド・カンパニー株式会社において、教育・研修事業を生業とし、小中学生向け起業家教育事業(代表事例:AOKI 起業家育成プロジェクト、平成 27 年度経済産業省起業家教育普及促進事業)、大学生・社会人(企業)向け研修事業等を行ってきました。代表者の永崎は教育学部卒、現在も横浜国立大学成長戦略研究センター連携研究員、早稲田大学トランスナショナル HRM 研究所招聘研究員を務めるなど、教育業界に精通しております。その上で Space BD は、2018 年 5 月に JAXA による国際宇宙ステーション(以下「ISS」)「きぼう」日本実験棟利用の民間開放に向けた取り組みとしての第一号案件、ISS からの「超小型衛星放出事業」に関する公募案件において、放出サービス提供事業者を選定されていることなど、宇宙産業に対する強いコミットメントがあり、知見と人的ネットワークの両面で「宇宙×教育」を担う必然性があります。</p>
<p>【株式会社増進会 ホールディングス】 代表取締役社長 藤井 孝昭</p> 	<p>Z会グループは、通信教育をはじめ、塾、出版、学校向けサービス、アセスメント(試験・評価)等の事業を通じ、幼児から社会人までの幅広い年齢層を対象に教育サービスを展開する、創立以来 87 年の歴史を持つ総合教育グループです。株式会社Z会をはじめとする通信教育事業では、ICT を活用した指導も積極的に取り入れており、常に新しい教育サービスを展開しています。株式会社栄光をはじめとする教室事業では、少人数指導、個別指導を取り入れ、一人ひとりの個性や目的、目標に応じたサービスを提供しており、科学実験やプログラミング、英会話などの様々な教室も展開しています。株式会社エデュケーショナルネットワークをはじめとする法人事業では、全国の学校・塾・予備校への教材・テストの販売等をおこなっていることに加え、近年では、公共団体の様々な取り組みやニーズに対応したサービスを提案し、受託実績が拡大しています。「最高の教育で、未来をひらく。」というグループ理念のもと、これからの未来を担う子どもたちに最高の教育サービスを提供してまいります。</p>
<p>【宇宙航空研究開発機構(JAXA)】 新事業促進部長 岩本 裕之</p> 	<p>JAXA 新事業促進部は、2018 年 5 月に、第 4 期中長期計画(2018~2024 年度)の新しい施策として、事業化までをスコープとした民間事業者等とのパートナーシップ型の新しい研究開発プログラムとして、宇宙イノベーションパートナーシップ(J-SPARC)を発表し、宇宙ビジネスを目指す民間事業者等と共に、宇宙分野に閉じることをない技術革新、イノベーション創出、新しい事業創出を進めています。</p> <p>我々は、この施策を通して、身近な宇宙を実現するとともに、パートナーの方々と一緒になって、社会に貢献する宇宙事業、次世代を切り拓く宇宙事業を創出・推進していきます。</p>

<p>【宇宙飛行士】 山崎 直子</p> 	<p>1996 年東京大学大学院航空宇宙工学専攻修士課程を修了後、NASDA(宇宙開発事業団、現・宇宙航空研究開発機構/JAXA)に入社。日本実験棟「きぼう」の開発業務に携わる。1999 年 2 月、NASDA より ISS(国際宇宙ステーション)に搭乗する日本人宇宙飛行士の候補者に選ばれ、同 4 月より基礎訓練に参加。2001 年 9 月に宇宙飛行士として正式に認定される。2010 年 4 月、スペースシャトル ディスカバリー号による 15 日間の ISS 組立補給ミッションに参加。ロードマスター(物資移送責任者)を務めたほか ISS やスペースシャトルのロボットアームの操作などを担当。2011 年 8 月に JAXA を退職後は、内閣府の宇宙政策委員会委員や日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー、大学客員教授などを務める。著書に『宇宙飛行士になる勉強法』(中央公論新社)、『何とかなるさ!』(サンマーク出版)、『瑠璃色の星』(世界文化社)、『夢をつなぐ』(角川書店)などがある。</p>
<p>【星槎大学客員教授】 北川 達夫</p> 	<p>早稲田大学法学部卒業後、外務省入省。1991~98 年、在フィンランド日本国大使館在勤・在エストニア日本国大使館兼勤を経て退官。現在は国際的な学力評価ツール開発者として OECD・PISA 読解力調査専門委員を務めたほか、教材作家として日本やフィンランドなどの教科書・教材・アセスメント制作に携わる。また、学校や企業を対象に、グローバル・スタンダードの思考力・対話力・倫理的意意思決定力の研修を実施している。現職は星槎大学大学院教育学研究科客員教授、三省堂英語科・国語科教科書編集委員ほか。著書に『学びの資質・能力 ラーニング・トゥ・ラーン』(共著 東洋館出版社 2018 年)、『フィンランドの教育~教育システム・教師・学校・授業・メディア教育から読み解く』(共著 フォーラム A 企画 2016 年)、『苦手なあの人と対話する技術』(東洋経済新報社 2014 年)ほか。</p>